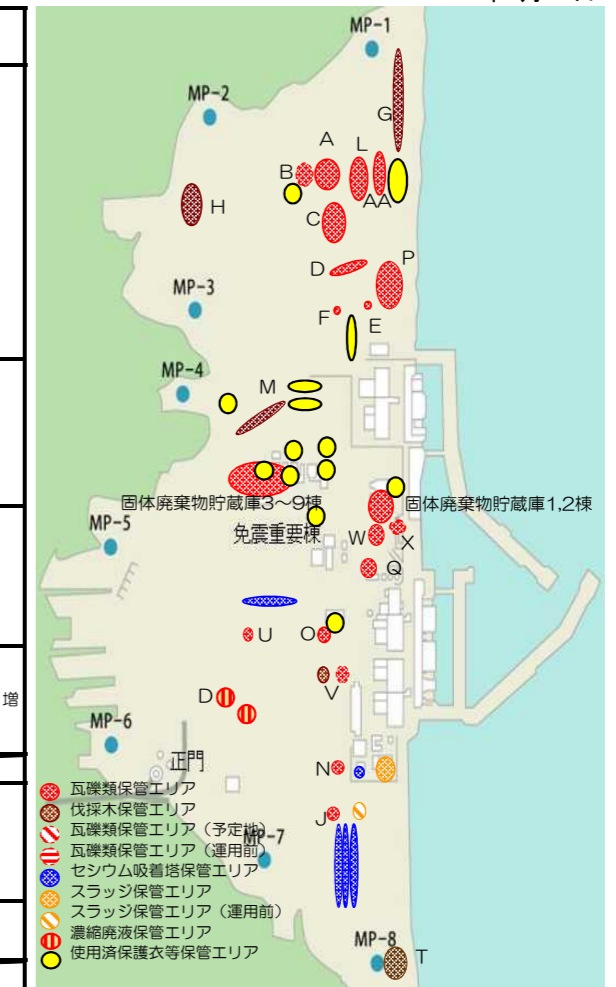


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.3.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2018.3.29)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	171300 / 250700 (68%)	・フランジタンク解体片 2018年3月末時点でコンテナ626基保管。 エリアP1コンテナ数: 571基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 55基 (2018年3月15日~)
		C	屋外集積	0.01未満	60,000 m ³	+100 m ³	①②③	95%		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
		J	屋外集積	0.02	4,300 m ³	+1,400 m ³	④	53%		
		N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
		O	屋外集積	0.01未満	40,600 m ³	-500 m ³	⑤⑥⑦	79%		
		P1	屋外集積	0.01	48,600 m ³	+100 m ³	⑧⑨	76%		
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	+700 m ³	⑩	100%		
		V	屋外集積	0.01	1,600 m ³	+100 m ³	⑪	27%		
AA	屋外集積	0.01未満	1,800 m ³	+1,800 m ³	⑫	65%				
シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	35400 / 71000 (50%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)が完了し受入開始。	
	E1	シート養生	0.03	13,600 m ³	微増	—	85%			
	P2	シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	61%			
	W	シート養生	0.04	5,800 m ³	+1,400 m ³	⑬	20%			
	X	シート養生	0.01	7,900 m ³	+400 m ³	⑭	65%			
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21900 / 27700 (79%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事で発生した瓦礫類。	
	A	仮設保管設備	0.20	6,900 m ³	+200 m ³	⑮	98%			
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
Q	容器	0.05	2,000 m ³	+300 m ³	⑯⑰	32%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	8,800 m ³	-200 m ³	⑱	19%	8800 / 45600 (19%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。	
合計(ガレキ)				237,300 m ³	+5,800 m ³	—	60%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200 m ³	0 m ³	—	63%	96600 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	—	2%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%				
合計(伐採木)				133,900 m ³	0 m ³	—	76%			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	59,700 m ³	-1,200 m ³	⑲	84%	59700 / 71200 (84%)	・使用済保護衣等焼却量 3648t (2018年3月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 808本 (2018年3月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				59,700 m ³	-1,200 m ³	—	84%			

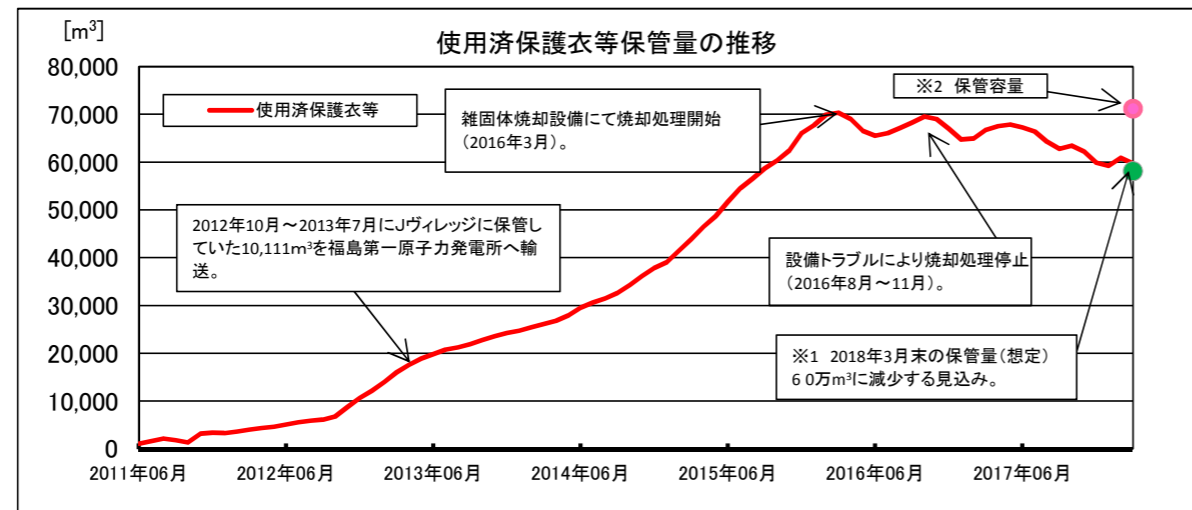
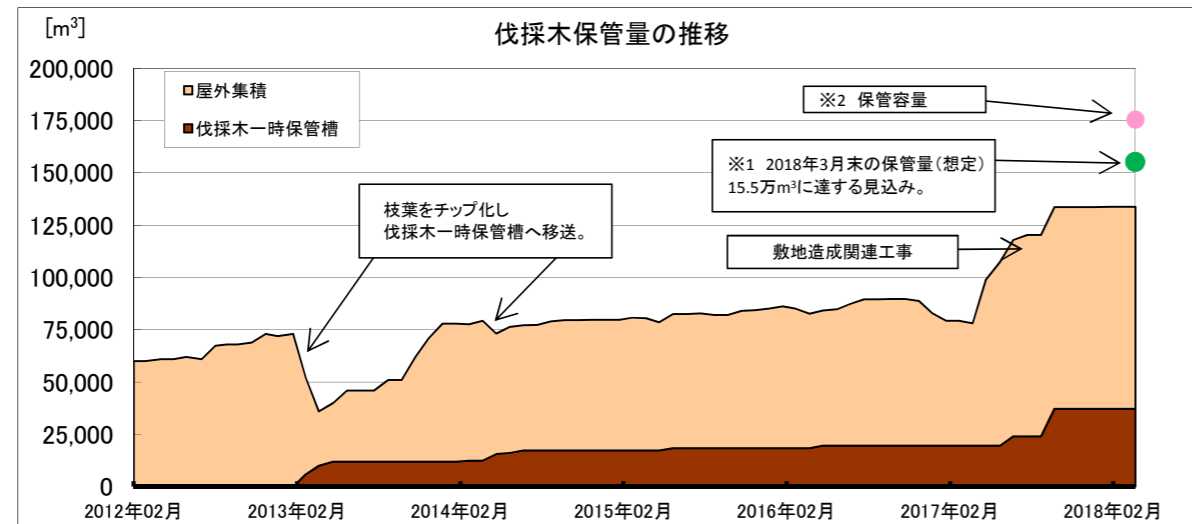
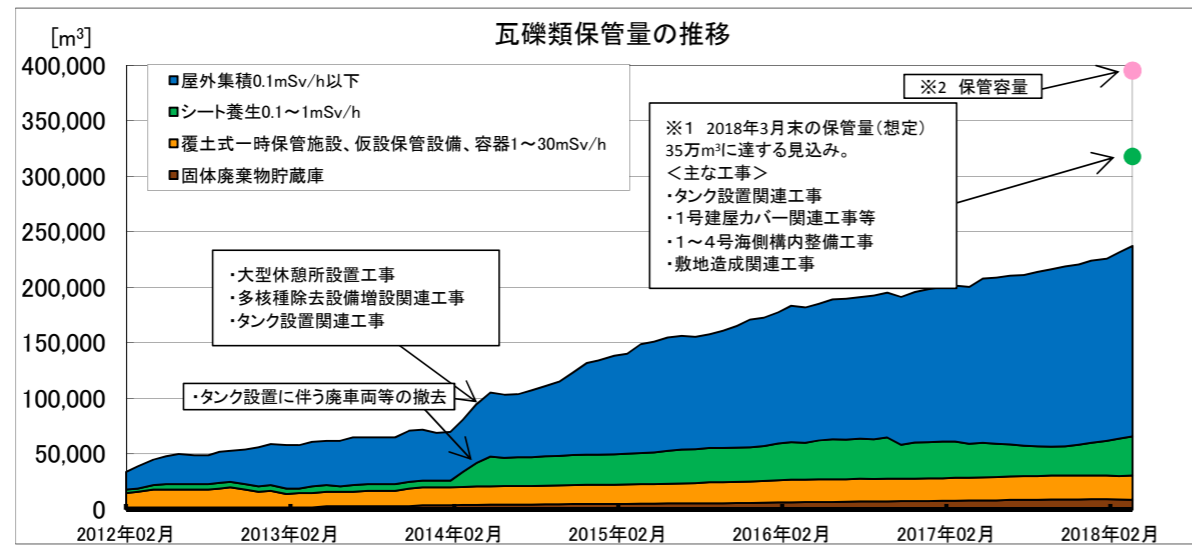
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③砕石取出しによる減 ④一時保管エリアOから瓦礫の受入 ⑤破砕物の受入 ⑥一時保管エリアJに移動
 ⑦一時保管エリアVに移動 ⑧瓦礫を一時保管エリアAAに移動 ⑨仮設集積の解消 ⑩一時保管エリアP1から瓦礫の受入 ⑪構内所有者不明物品の受入
 ⑫一時保管エリアQから瓦礫の受入 ⑬固体廃棄物貯蔵庫から瓦礫の受入 ⑭瓦礫を仮設保管設備Aに移動 ⑮瓦礫を一時保管エリアQに移動 ⑯焼却運転
 ※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2018.4.5時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.3.29)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	767 本	+4 本	3945 / 6368 (62%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	196 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,456 基			+5 基
			増設	1,242 基			+20 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本			
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔			
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	199 本	+1 本					
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,353 m ³	+23 m ³	9353 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9253 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]		

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.3.30時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年1月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2018年1月26日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.4.5時点)

